

2022年3月期 第2四半期 決算説明資料

OCHIホールディングス株式会社



2021年12月3日

会社概要

経営理念

住生活に関するビジネスを基軸として、
生活文化の向上と地球環境の保全に貢献します。

会社概要

代表者	越智 通広
本社所在地	福岡市中央区那の津三丁目12番20号
設立	2010年10月1日
資本金	4億円
発行済株式総数	13,610,970株
業種別分類	卸売業
証券コード	3166 (東証1部・福証)
銘柄略称	OCHI・HD
売買単位	100株
グループ従業員数	1,305名(2021年9月30日現在)

沿革

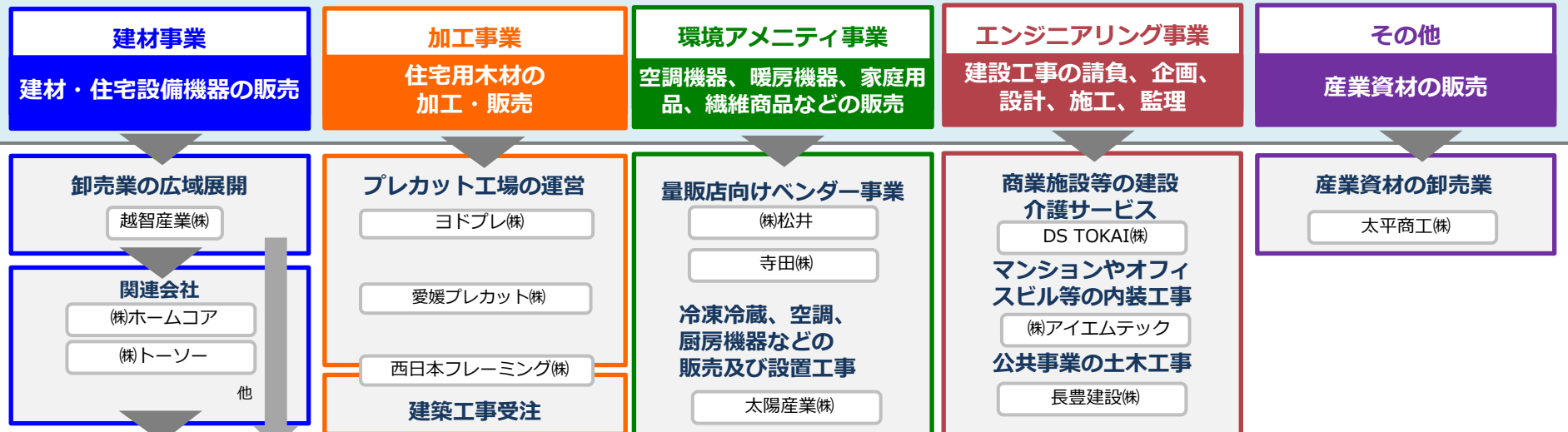
1955年 5月	木材及び合板等の建築材料の販売を目的として、福岡市で越智商店を創業
1958年10月	(株)越智商店設立
1970年 6月	越智産業(株)に商号変更
1996年 2月	福岡証券取引所に上場
2010年10月	越智産業(株)の株式移転によりOCHIホールディングス(株)設立、持株会社体制へ移行、福岡証券取引所に上場
2013年11月	東証2部上場
2014年11月	東証1部へ市場変更
2014年12月	DS TOKAI(株)を子会社化し、中京圏での建設事業、介護サービス事業へ進出
2016年10月	太平商工(株)を子会社化し、産業資材の販売へ進出
2018年 8月	冷熱環境器材の販売を行なう太陽産業(株)を子会社化

住宅資材卸売ランキング

2021年3月期連結

2022年3月期 第2四半期累計

順位	会社名	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率
1	J Kホールディングス(株)	343,254	5,430	1.6%	177,805	5,717	3.2%
2	ナイス(株)	214,069	4,493	2.1%	104,335	3,711	3.6%
3	ジューテックホールディングス(株)	148,649	1,224	0.8%	81,226	1,292	1.6%
4	OCHIホールディングス(株)	101,842	1,943	1.9%	51,042	1,160	2.3%
5	クワザワホールディングス(株)	93,942	873	0.9%	28,683	252	0.9%



西日本地区中心から全国73拠点へグループのネットワークを拡大 (2021年11月時点)



事業拠点

本社、札幌店

札幌TDC営業部

函館店

青森店

大宮営業所

福岡営業所



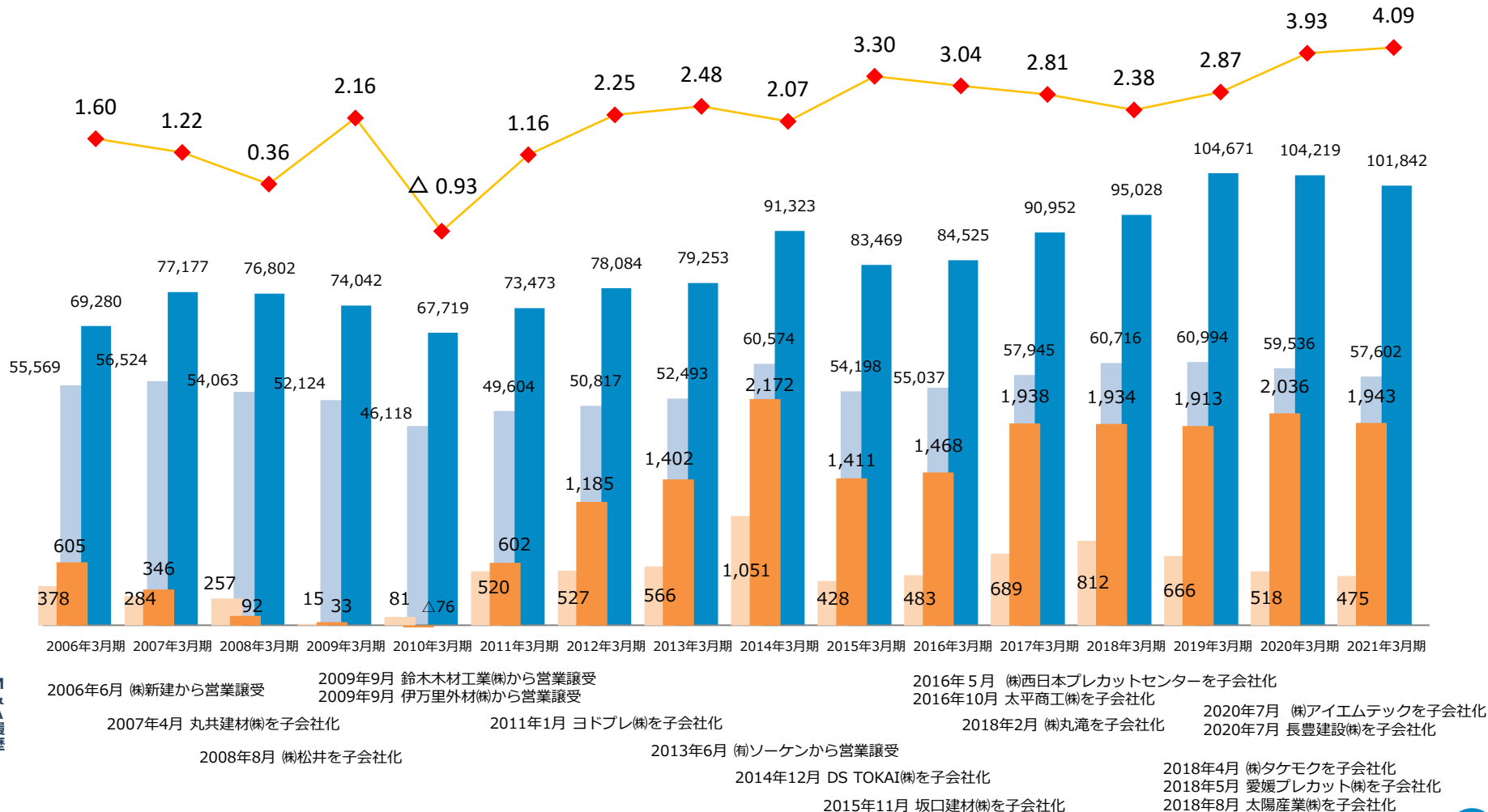
本社ビル

商号	寺田(株)
設立	1956年（昭和31年）
資本金	99,900 千円
従業員数	53 名（2021年2月）
本社	北海道札幌市中央区北五条西10丁目20番
事業拠点	（北海道）札幌店、札幌TDC営業部、 函館店 （東北）青森店 （関東）大宮営業所 （九州）福岡営業所
事業内容	繊維商品の卸売 （寝装寝具、衣料品、タオル、インテリア等）
売上高	3,861 百万円（2021年2月期）

M & Aで子会社化した企業を確実に収益化することで、連結業績の拡大に成功

■ 連結売上高 ■ 単体売上高 ■ 連結営業利益 ■ 単体営業利益 ◆ 営業利益の連単倍率 (単位:百万円)

※単体は越智産業(株)



2022年3月期 第2四半期 決算概況

住宅着工の増加とM&A効果で、第2四半期累計としては、 営業利益、四半期純利益とも過去最高

売上高

51,042百万円

前年同期比 106.8%
計画比 100.1%

- 2021年4～9月の持家・分譲戸建住宅の着工戸数は、前年同期比12.8%増
- 売上高は、前年同期比6.8%増。収益認識会計基準等の適用の影響を除けば、10.1%増。さらに、M&Aの寄与分を除けば、5.9%増
- 「加工」と「その他」で計画達成

営業利益

1,160百万円

前年同期比 205.4%
計画比 122.1%

- 営業利益は、前年同期比105.4%増。収益認識会計基準等の適用の影響を除けば、127.1%増。さらに、M&Aの寄与分を除けば、64.3%増
- 「建材」、「加工」、「その他」で計画達成

親会社株主に帰属する四半期純利益

947百万円

前年同期比 112.6%
計画比 131.6%

- 特別利益として、投資有価証券売却益80百万円、負ののれん発生益11百万円を計上

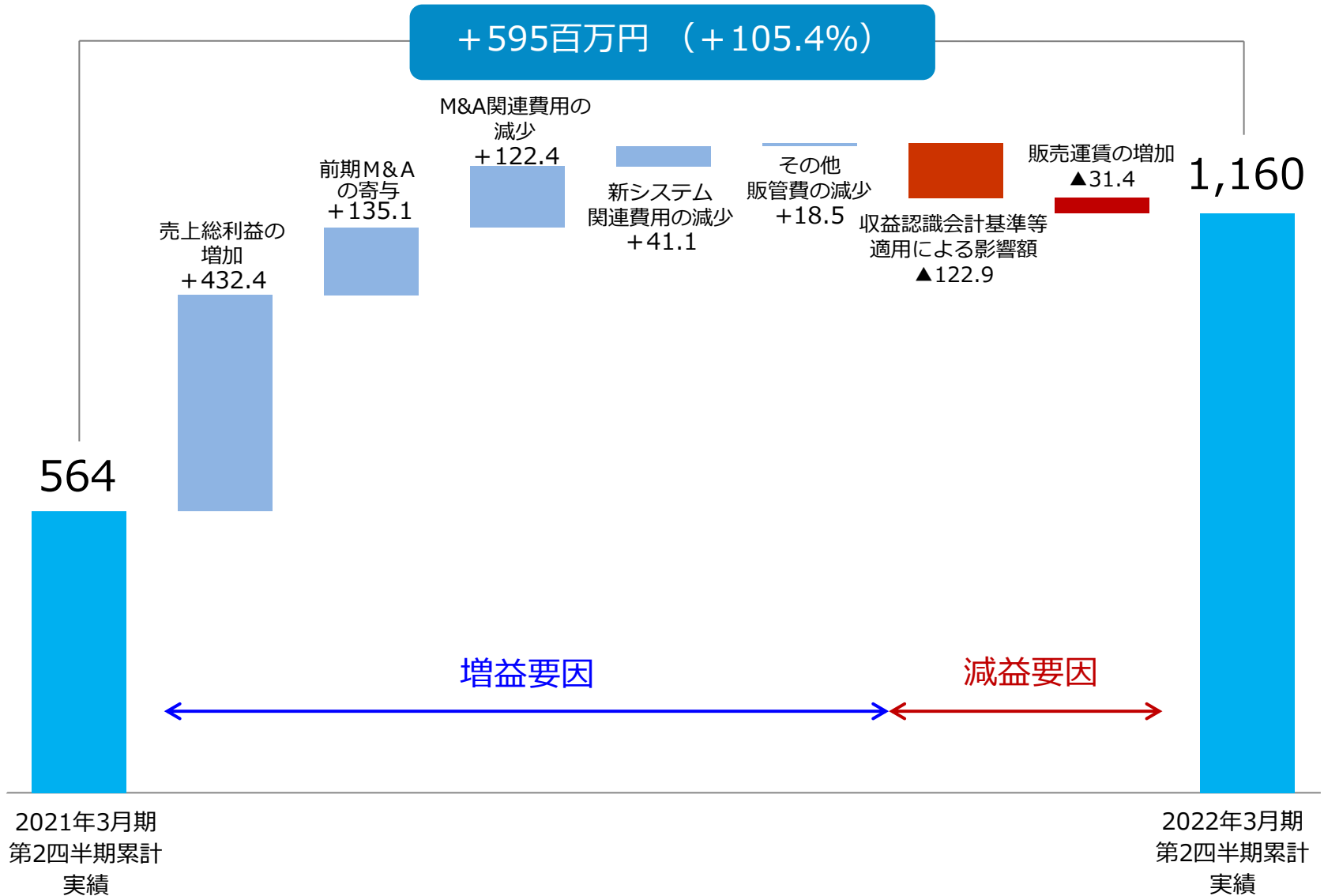
単位:百万円、()内は構成比

	2021年3月期 第2四半期累計	2022年3月期 第2四半期累計					
		実績	前年同期増減	前年同期比	計画	計画増減	計画比
売上高	47,774 (100.0%)	51,042 (100.0%)	3,268	106.8%	51,000 (100.0%)	42	100.1%
		52,579 (100.0%)	4,805	110.1%			
売上総利益	6,130 (12.8%)	6,763 (13.3%)	632	110.3%	6,692 (13.1%)	71	101.1%
		6,886 (13.1%)	755	112.3%			
販売管理費	5,565 (11.7%)	5,603 (11.0%)	37	100.7%	5,742 (11.3%)	▲138	97.6%
営業利益	564 (1.2%)	1,160 (2.3%)	595	205.4%	950 (1.9%)	210	122.1%
		1,283 (2.4%)	718	227.1%			
経常利益	702 (1.5%)	1,380 (2.7%)	678	196.6%	1,140 (2.2%)	240	121.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	841 (1.8%)	947 (1.9%)	106	112.6%	720 (1.4%)	227	131.6%

※2022年3月期の期首から収益認識会計基準等を適用しております。
 なお、網掛けの数値は収益認識会計基準等の適用による影響を除いたものを記載しております。

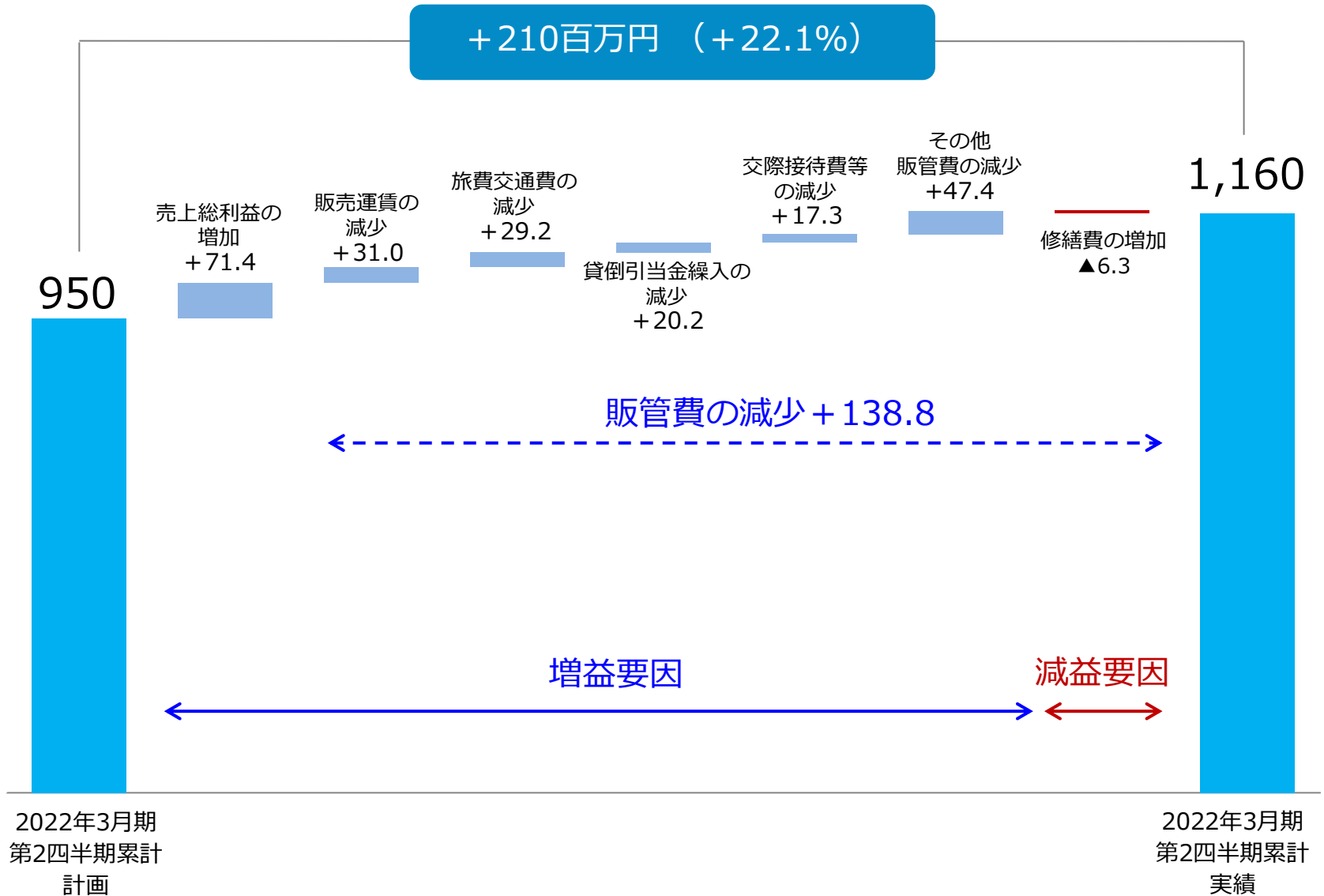
売上総利益の増加、M&Aの寄与により増益

(単位:百万円)

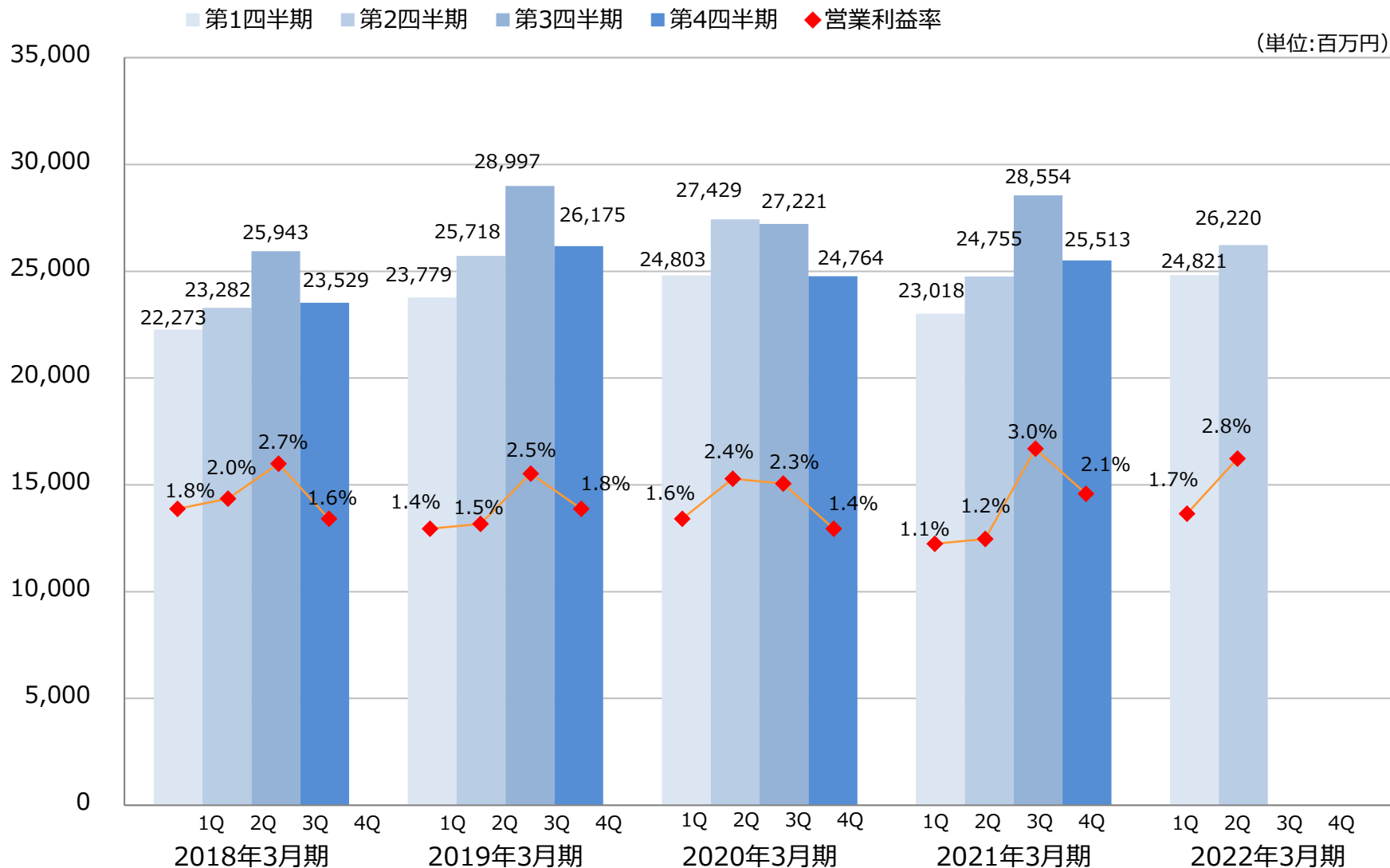


売上総利益の増加、販管費の圧縮により増益

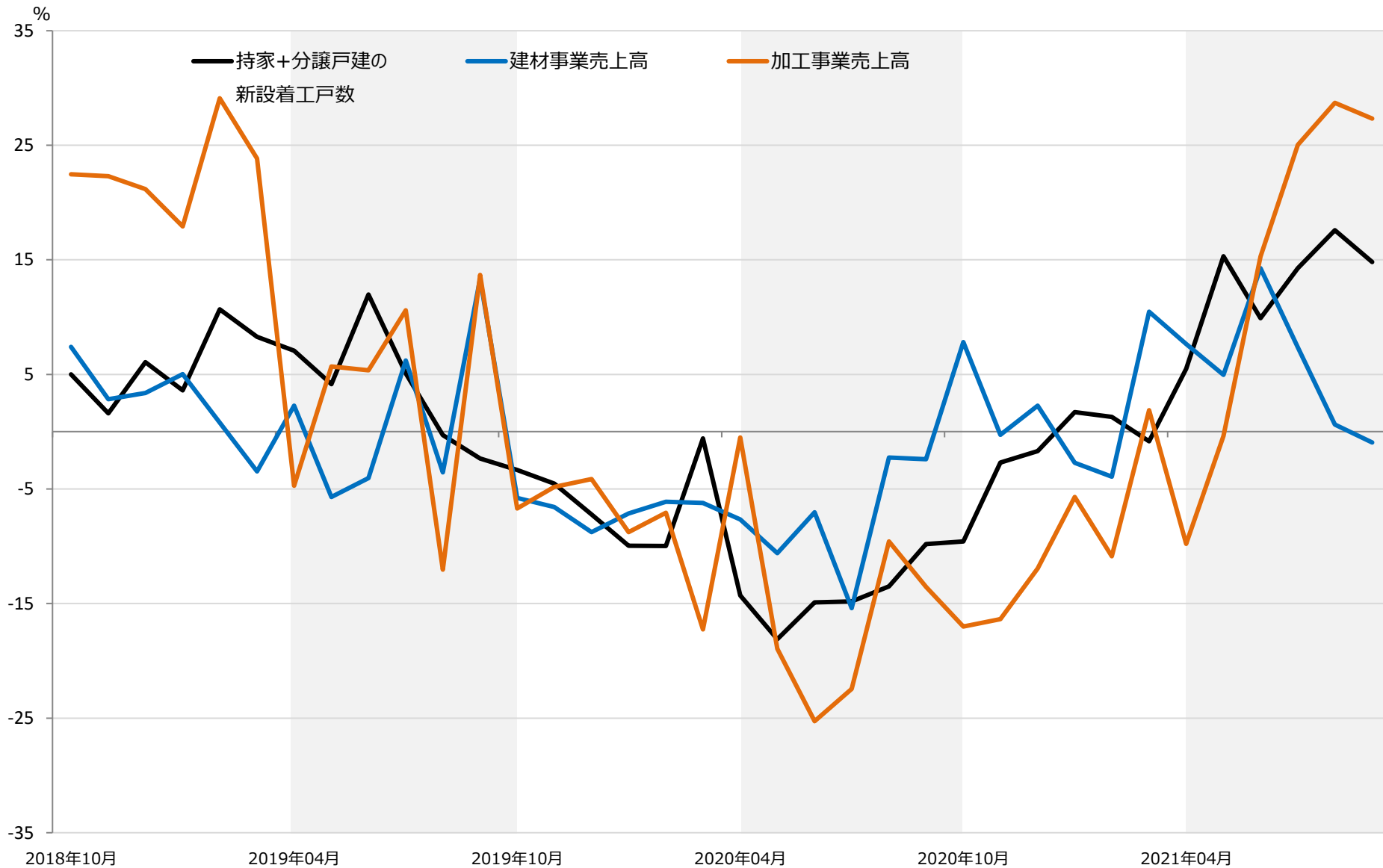
(単位:百万円)



四半期売上高の推移



前年同月比 年率推移 (全国)



※2021年度の前年同月比は収益認識会計基準等の適用による影響を除く

セグメント別の損益

※2022年3月期の期首から収益認識会計基準等を適用しております。

単位:百万円、()内は構成比
< >は各セグメントの営業利益率

	2021年3月期 第2四半期累計	2022年3月期 第2四半期累計					
		実績	前年同期増減	前年同期比	計画	計画増減	計画比
売上高	47,774 (100.0%)	51,042 (100.0%)	3,268	106.8%	51,000 (100.0%)	42	100.1%
建材事業	32,188 (67.4%)	32,622 (63.9%)	434	101.3%	33,105 (64.9%)	▲483	98.5%
加工事業	6,708 (14.0%)	7,068 (13.8%)	360	105.4%	6,758 (13.3%)	310	104.6%
環境アメニティ事業	7,176 (15.0%)	7,040 (13.8%)	▲136	98.1%	7,291 (14.3%)	▲251	96.6%
エンジニアリング事業	451 (0.9%)	2,967 (5.8%)	2,516	657.8%	3,093 (6.1%)	▲126	95.9%
その他	1,451 (3.0%)	1,564 (3.1%)	112	107.8%	1,457 (2.9%)	107	107.3%
部門間調整	▲202	▲221	▲18	—	▲706	485	—
営業利益	564 (1.2%)	1,160 (2.3%)	595	205.4%	950 (1.9%)	210	122.1%
建材事業	474 <1.5%>	589 <1.8%>	114	124.1%	499 <1.5%>	89	118.0%
加工事業	359 <5.4%>	592 <8.4%>	233	164.8%	411 <6.1%>	181	144.2%
環境アメニティ事業	93 <1.3%>	58 <0.8%>	▲35	62.6%	72 <1.0%>	▲13	81.3%
エンジニアリング事業	▲113 <->	179 <6.0%>	292	—	232 <7.5%>	▲53	77.1%
その他	15 <1.1%>	37 <2.4%>	22	240.8%	16 <1.1%>	21	227.0%
部門間調整	▲266	▲297	▲31	—	▲282	▲15	—

※2022年3月期の期首から収益認識会計基準等を適用しております。

なお、網掛けの数値は収益認識会計基準等の適用による影響を除いたものを記載しております。

単位:百万円、()内は構成比

	2021年3月期 第2四半期累計	2022年3月期 第2四半期累計					
		実績	前年同期増減	前年同期比	計画	計画増減	計画比
売上高	32,188	32,622 33,952	434 1,764	101.3% 105.5%	33,105	▲483	98.5%
売上総利益	3,538 (11.0%)	3,606 (11.1%) 3,726 (11.0%)	67 187	101.9% 105.3%	3,608 (10.9%)	▲1	99.9%
営業利益	474 (1.5%)	589 (1.8%) 709 (2.1%)	114 234	124.1% 149.3%	499 (1.5%)	89	118.0%

- 前期比**
- 売上高については、持家・分譲戸建住宅の着工戸数が増加し、リフォーム需要が拡大する事業環境の中、収益認識会計基準等の適用の影響を除いた前年同期比では、5.5%の増収
 - 営業利益については、収益認識会計基準等の適用の影響を除いた前年同期比では、49.3%の増益。なお、収益認識会計基準等の適用前後での差異は、売上割引が「営業外費用への計上」から「売上の控除」への変更によるもの
 - 2021年7月の丸光トーヨー(株)の子会社化による影響は、負ののれん発生益11百万円を除いては、限定的
- 計画比**
- 売上高については、直需中心の子会社がやや不振であったことから、計画未達
 - 営業利益については、売上総利益率の向上、及び、販管費の圧縮により、計画達成

※2022年3月期の期首から収益認識会計基準等を適用しております。
 なお、網掛けの数値は収益認識会計基準等の適用による影響を除いたものを記載しております。

単位:百万円、()内は構成比

	2021年3月期 第2四半期累計	2022年3月期 第2四半期累計					
		実績	前年同期増減	前年同期比	計画	計画増減	計画比
売上高	6,708	7,068	360	105.4%	6,758	310	104.6%
		7,643	934	113.9%			
売上総利益	1,263 (18.8%)	1,495 (21.2%)	231	118.3%	1,356 (20.1%)	138	110.2%
		1,498 (19.6%)	234	118.5%			
営業利益	359 (5.4%)	592 (8.4%)	233	164.8%	411 (6.1%)	181	144.2%
		595 (7.8%)	235	165.6%			

- 前期比** ■ 世界的な木材の供給不足とそれに伴う価格高騰が続く中で、資材の確保と適正な価格での販売に注力し、収益認識会計基準等の適用の影響を除いた前年同期比では、13.9%の増収。なお、売上高の収益認識会計基準等の適用前後での差異は、主として有償支給取引に係るもの
- 営業利益については、収益認識会計基準等の適用の影響を除いた前年同期比では、65.6%の増益
 - 2021年5月、管理部門の集約による効率化のため、ヨドブレ(株)と(株)西日本プレカットセンターを統合

計画比 ■ 売上高、営業利益とも、計画達成

※2022年3月期の期首から収益認識会計基準等を適用しております。
 なお、網掛けの数値は収益認識会計基準等の適用による影響を除いたものを記載しております。

単位:百万円、()内は構成比

	2021年3月期 第2四半期累計	2022年3月期 第2四半期累計					
		実績	前年同期増減	前年同期比	計画	計画増減	計画比
売上高	7,176	7,040 7,040	▲136 ▲136	98.1% 98.1%	7,291	▲251	96.6%
売上総利益	981 (13.7%)	957 (13.6%) 958 (13.6%)	▲23 ▲23	97.6% 97.6%	987 (13.5%)	▲30	96.9%
営業利益	93 (1.3%)	58 (0.8%) 59 (0.8%)	▲35 ▲34	62.6% 63.0%	72 (1.0%)	▲13	81.3%

前期比 ■ 家庭用品の販売が前年同期の巣ごもり需要の反動により減少し、前年同期比1.9%の減収

■ 営業利益についても、売上高の減少により、前年同期比37.4%の減益

計画比 ■ 家庭用品の巣ごもり需要の反動減に加えて、世界的な半導体不足と東南アジア諸国での活動規制の影響による冷凍冷蔵機器・空調機器の供給遅延、それらの機器の飲食業・観光業への販売及び設置工事の落ち込みを主因として、売上高、営業利益とも、計画未達

※2022年3月期の期首から収益認識会計基準等を適用しております。

なお、網掛けの数値は収益認識会計基準等の適用による影響を除いたものを記載しております。

単位:百万円、()内は構成比

	2021年3月期 第2四半期累計	2022年3月期 第2四半期累計					
		実績	前年同期増減	前年同期比	計画	計画増減	計画比
売上高	451	2,967 2,600	2,516 2,149	657.8% 576.3%	3,093	▲126	95.9%
売上総利益	101 (22.6%)	444 (15.0%)	342	435.8%	497 (16.1%)	▲52	89.4%
営業利益	▲113 (-)	179 (6.0%)	292	—	232 (7.5%)	▲53	77.1%

前期比 ■ 売上高については、2020年7月に子会社化した(株)アイエムテック及び長豊建設(株)の寄与分2,102百万円(前年同期の寄与分110百万円)に加えて、収益認識会計基準等の適用前後の差異が純額で+367百万円となり、前年同期比557.8%の増収。
 なお、収益認識会計基準等の適用前後での差異は、原価回収基準の適用によるもの

■ 営業利益についても、2社のM&Aの寄与分113百万円により、179百万円となった。なお、前年同期は、M&A関連費用127百万円の発生により、営業損失113百万円

計画比 ■ 一部工事の工期の遅れから、売上高、営業利益とも、計画未達

単位:百万円、()内は構成比

	2021年3月期 第2四半期累計	2022年3月期 第2四半期累計					
		実績	前年同期増減	前年同期比	計画	計画増減	計画比
売上高	1,451	1,564	112	107.8%	1,457	107	107.3%
売上総利益	245 (16.9%)	258 (16.5%)	13	105.6%	246 (16.9%)	12	105.2%
営業利益	15 (1.1%)	37 (2.4%)	22	240.8%	16 (1.1%)	21	227.0%

前期比 ■ 前年同期において新型コロナウイルスの感染拡大により自動車関連が大きく落ち込んだ反動により、売上高は前年同期比7.8%増、営業利益は前年同期比140.8%増

- 2021年2月、賃借料等の削減、働き方の多様化への対応のため、本社を東京都心3区内で移転、名古屋支店を減床

計画比 ■ 売上高、営業利益とも、計画達成

貸借対照表



(単位:百万円)

	2021年3月期	2022年3月期 第2四半期	
			増減
現金及び預金	10,731	10,282	▲449
売上債権	20,563	21,785	1,221
商品	3,129	4,461	1,332
未成工事支出金	2,781	823	▲1,958
その他流動資産	670	581	▲89
貸倒引当金	▲28	▲27	0
流動資産	37,848	37,906	58
有形固定資産	11,824	11,851	26
無形固定資産	1,538	1,412	▲125
投資その他の資産	5,694	5,578	▲115
固定資産	19,056	18,841	▲214
資産合計	56,905	56,748	▲156

	2021年3月期	2022年3月期 第2四半期	
			増減
仕入債務	27,475	28,798	1,322
短期借入金 1年内償還予定の社債	3,153	2,953	▲199
その他流動負債	4,258	2,765	▲1,492
長期借入金	2,362	2,018	▲343
退職給付に係る負債	498	504	5
その他固定負債	2,008	1,907	▲101
負債	39,757	38,948	▲808
株主資本	16,573	17,304	730
その他の包括利益累計額	536	456	▲80
非支配株主持分	37	38	1
純資産	17,147	17,799	651
負債純資産合計	56,905	56,748	▲156
自己資本比率	30.1%	31.3%	1.2%

(単位:百万円)

	2021年3月期 第2四半期累計	2022年3月期 第2四半期累計	主な要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲124	564	税引前当期純利益 + 1,473 仕入債務の増加 + 1,282 売上債権の増加 ▲1,189 法人税等の支払額 ▲721
投資活動によるキャッシュ・フロー	568	▲149	投資有価証券の売却および 償還による収入 + 113 有形固定資産の取得による支出 ▲252
フリー・キャッシュ・フロー	443	415	
財務活動によるキャッシュ・フロー	661	▲860	長期借入れによる収入 + 300 長期借入金の返済による支出 ▲738 配当金の支払額 ▲223
現金及び現金同等物の増減額	1,105	▲445	
現金及び現金同等物の期首残高	8,181	10,711	
現金及び現金同等物の期末残高	9,286	10,266	

2022年3月期業績予想

当初予想から上方修正

- 新設住宅着工戸数は引き続き堅調に推移すると見込まれる。
- 2021年10月の寺田(株)の子会社化に伴い、負ののれん発生益12億円をはじめ、同社の期間損益を織り込む。

単位:百万円、()内は構成比

	2021年3月期 実績	2022年3月期					
		修正後予想	前年増減	前期比	当初予想(計画)	予想増減額	予想増減率
売上高	101,842 (100.0%)	106,000 (100.0%)	4,157	104.1%	104,000 (100.0%)	2,000	101.9%
売上総利益	13,082 (12.8%)	14,184 (13.4%)	1,101	108.4%	13,623 (13.1%)	561	104.1%
販売管理費	11,139 (10.9%)	11,884 (11.2%)	744	106.7%	11,543 (11.1%)	341	103.0%
営業利益	1,943 (1.9%)	2,300 (2.2%)	356	118.4%	2,080 (2.0%)	220	110.6%
経常利益	2,198 (2.2%)	2,700 (2.5%)	501	122.8%	2,460 (2.4%)	240	109.8%
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,793 (1.8%)	2,950 (2.8%)	1,156	164.5%	1,550 (1.5%)	1,400	190.3%
R O E	11.0%	16.1%	—	—	8.8%	—	—

上期業績の反映及び住宅着工の堅調な推移を見込み、上方修正

建材事業

単位:百万円、()内は構成比

	2021年3月期 実績	2022年3月期					
		修正後予想	前年増減	前期比	当初予想(計画)	予想増減額	予想増減率
売上高	67,986	68,105	118	100.2%	68,105	—	100.0%
売上総利益	7,492 (11.0%)	7,426 (10.9%)	▲66	99.1%	7,426 (10.9%)	—	100.0%
営業利益	1,376 (2.0%)	1,190 (1.7%)	▲186	86.5%	1,101 (1.6%)	89	108.1%

加工事業

	2021年3月期 実績	2022年3月期					
		修正後予想	前年増減	前期比	当初予想(計画)	予想増減額	予想増減率
売上高	13,455	14,100	644	104.8%	13,610	490	103.6%
売上総利益	2,484 (18.5%)	3,000 (21.3%)	515	120.7%	2,744 (20.2%)	256	109.3%
営業利益	704 (5.2%)	1,100 (7.8%)	395	156.1%	857 (6.3%)	243	128.4%

**寺田(株)の期間損益の織り込みにより売上高、売上総利益は上方修正するも、
M&A関連費用90百万円の計上により営業利益は下方修正**

環境アメニティ事業

単位:百万円、()内は構成比

	2021年3月期 実績	2022年3月期					
		修正後予想	前年増減	前期比	当初予想(計画)	予想増減額	予想増減率
売上高	15,045	15,800	754	105.0%	14,478	1,322	109.1%
売上総利益	2,017 (13.4%)	2,260 (14.3%)	242	112.0%	1,954 (13.5%)	306	115.7%
営業利益	224 (1.5%)	20 (0.1%)	▲204	8.9%	125 (0.9%)	▲105	16.0%

エンジニアリング事業

単位:百万円、()内は構成比

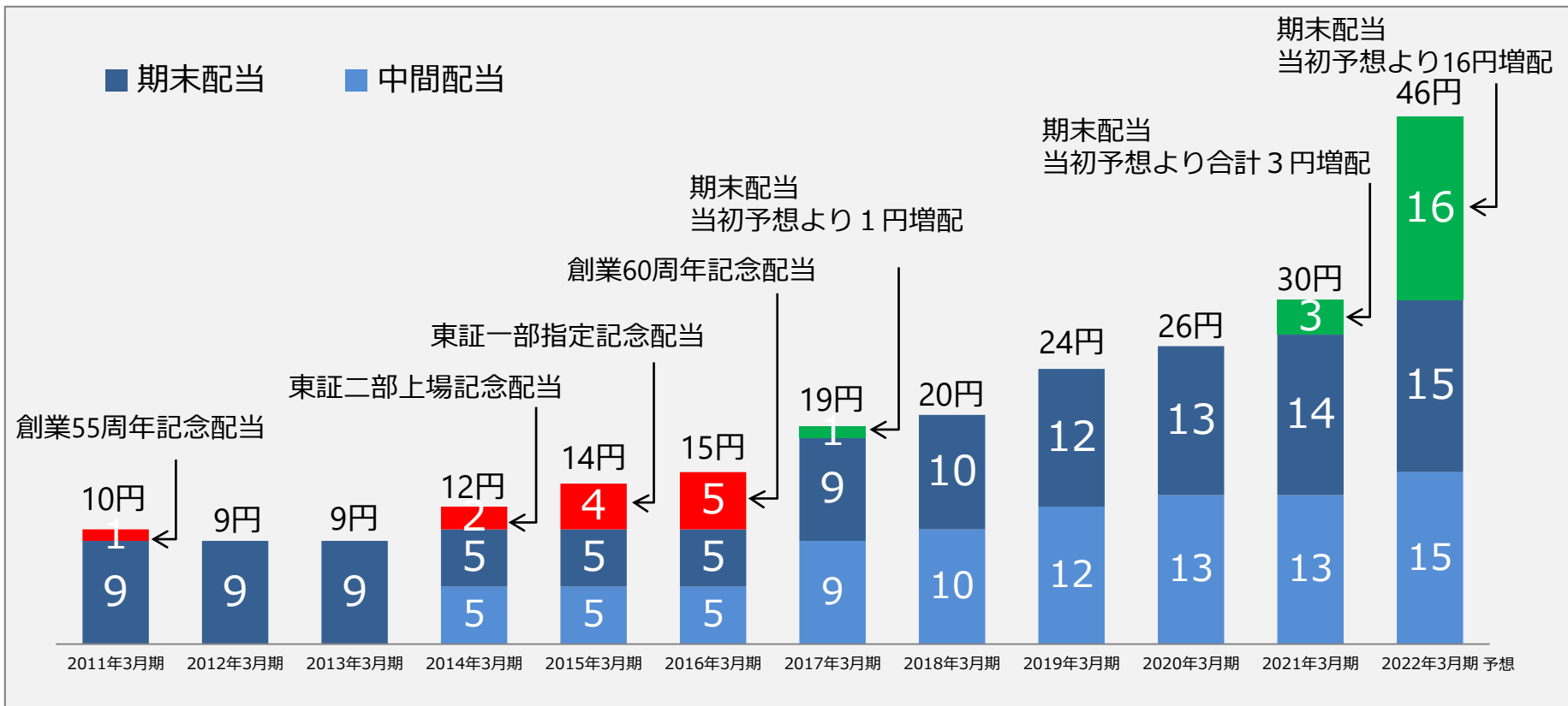
	2021年3月期 実績	2022年3月期					
		修正後予想	前年増減	前期比	当初予想(計画)	予想増減額	予想増減率
売上高	2,829	5,693	2,863	201.2%	5,693	—	100.0%
売上総利益	605 (21.4%)	1,008 (17.7%)	402	166.6%	1,008 (17.7%)	—	100.0%
営業利益	127 (4.5%)	483 (8.5%)	355	378.8%	483 (8.5%)	—	100.0%

その他

	2021年3月期 実績	2022年3月期					
		修正後予想	前年増減	前期比	当初予想(計画)	予想増減額	予想増減率
売上高	2,961	2,905	▲55	98.1%	2,905	—	100.0%
売上総利益	484 (16.4%)	490 (16.9%)	5	101.1%	490 (16.9%)	—	100.0%
営業利益	27 (0.9%)	48 (1.7%)	21	177.1%	48 (1.7%)	—	100.0%

■ 配当方針

安定的な配当の維持に努めることに加えて、連結業績を加味した配当を行なうことを基本方針とし、連結配当性向については、**20%**程度を下限とし、**30%**以上を目指すものとします。



配当性向 7.9% 4.7% 6.2% 7.3% 16.9% 17.4% 18.4% 19.6% 22.9% 23.7% 21.8% 20.3%



【 連絡先 】 OCHIホールディングス株式会社
【 所在地 】 福岡市中央区那の津三丁目12番20号
【 T E L 】 経営企画部 092-732-8959
財 務 部 092-711-9173

このプレゼンテーション資料には、現時点の将来に関する前提や見通しに基づく予測が含まれております。実際の業績は、その時々状況や多様な要因により変更を余儀なくされることがあります。なお、変更があった場合でも当社は本資料を改定する義務を負いかねますので、ご了承ください。

また、本資料のいかなる部分も一切の権利はOCHIホールディングス株式会社に属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。